

飯山市総合戦略進行管理表

資料1

人口ビジョンの目標数値（総人口）

基準値(H26.12月末)	目標値(2019.12月末)
21,814人	19,900人

◎ 総人口(年末現在) 基本数値

国勢調査人口 (人口動態数値)	単位	26年末 (基準値)	27年末	28年末	H29年			H30年			H31年		備考
					29年末	達成率	評価	平成30年末	数字の 根拠	達成率	評価	目標値 31年末	
年末集計(人) (集計方法:長野県毎月人口 異動調査。年末集計) (括弧内は、目標値)	人	21,814	21,345	20,860	20,501			20,126 (20,200)	確定値	99.6	○	19,900	参考資料のとおり。 H29年度末に目標値 改定

74人の差

★戦略の4つの柱(基本目標)

I 地域経済活性化・雇用創出
新幹線開業効果で地域に元気を創出

・新たなひとの流れとしごとの創出による活気あふれるまちづくりを進めます
[数値目標]

指標	基準値	目標値
観光入込客数(日帰り+宿泊) (根拠:長野県観光入込客統計)	平成26年 1,199,800人	計画期間年平均 130万人
飯山駅乗車数(新幹線) (根拠:JR東日本公表資料・市調査)	新幹線開業後1か月の日平均 約500人	計画期間日平均 1,300人

戦略の柱 基本目標	単位	26年末 (基準値)	27年末	28年末	H29年			H30年			H31年		備考
					29年末	達成率	評価	平成30年末	数字の 根拠	達成率	評価	目標値 31年末	
II【転出者と転入者の差】 長野県毎月異動調査 【暦年集計】	人	▲155	▲239	▲275	▲139	72	○	▲135	確定値	74	○	▲100	

II 若者定住・移住定住推進
若者の夢が実現するまち 飯山での魅力ある暮らしを提案・発信

・若者の結婚、出産等の希望をかなえ、若者の暮らしを支援するとともに、あらゆる世代の移住定住を推進します
[数値目標]

指標	基準値	目標値
成婚組数 (根拠:市調査)	平成25・26年度年平均 105組	計画期間年平均 120組
転出者と転入者の差 (根拠:長野県毎月人口異動調査)	平成26年 ▲155人	平成31年 ▲100人

戦略の柱 基本目標	単位	26年度 (基準値)	27年度末	28年度末	H29年度			H30年度			H31年度		備考
					29年度末	達成率	評価	平成30年度末 見込	数字の 根拠	達成率	評価	目標値 31年度末	
I【観光入込客数(日帰り+宿泊)】	人	1,190,600	1,079,100	1,045,500	1,010,000	78	○	988,000	年度末までの見込み			130万人	
I【飯山駅乗車人数(新幹線:日平均)】	人	/	504	519	550	42	×	-	-			1,300人	翌年度JRより公表
II 1年間の【成婚組数】	組	105	95	105	96	80	○	72	H30.12末時点			120	
III【合計特殊出生率】	率	1.42	1.78	1.25	1.45	91	○	1.25	年度末までの見込み			1.60	
V【活性化センター数】	人	/	10地区	10地区	10地区	100	◎	10地区	変更なしの見込み	100	◎	10地区の維持	

III 子育て支援・次世代育成
[子育てするなら飯山市]の実現

・子育て環境を更に充実し、次世代を担う子どもたちの成長を応援します
[数値目標]

指標	基準値	目標値
合計特殊出生率 (根拠:市調査)	平成20年～平成24年平均 1.42	平成31年 1.6

IV いつまでも安心して暮らせる地域づくり
雪国の暮らしをより明るく快適に

・いつまでも元気に暮らせる安心・安全な雪国の地域づくりを進めます
[数値目標]

指標	基準値	目標値
地区活性化センター数 (根拠:飯山市組織規則)	平成27年度 10地区	平成31年度 10地区の維持

各事業の評価(目標値への達成状況)は、次のとおり行っています。

記号	達成状況の表
◎	達成した。目標値以上
○	目標値の70%以上
△	目標値の50%以上(70%未満)
×	それ未満
-	未定、不明

目標値が累計の場合、年ごとに均等に割り、その年数(H30年度は4年目)での到達状況について算出しています。

飯山市総合戦略進行管理表

● 4つの柱 具体目標(KPI)

I 地域経済活性化・雇用創出

施策I-(1)新たな産業と雇用の創出・人材育成の推進

項目・指標等 (KPI)	単位	H29年度			平成30年度					平成31年度		目標値	平成30年度 成果と課題	平成31年度の取組み				
		26年度 (基準値)	27年 度末	28年 度末	29年 度末	実績値	累計の場 合3年目 の目標値	達成率	評価	平成30年 度末見込	数字の 根拠				実績 見込値	累計の場 合4年目 の目標値	達成率	評価
1 新規就農者数	人	3人	2	0	1	累計 3人	累計 12人	25	×	6	年度末 まで変 更なし の予定	累計 9人	累計 16人	56	△	累計20人	移住定住の推進と併せ、給付 金制度や技術支援等の制度 のPRを行う。	経営開始型、個人就農、定年 帰農、親元就農等の各種事業 を推進し、新規就農を図る。
2 既存企業支援等による雇用者増加数	人	29人	55	21	32	累計 108人	累計 180人	60	△	30	年度末 までの 見込み	累計 138人	累計 240人			累計300 人	企業立地振興条例による既存 企業への支援(補助、減免 等)。支援事業の要件の規模 が大きく、中小事業所には使 いにくい。	現行制度の継続と中小事業 者への支援の検討
3 人材育成塾参加者数	人	0人	11	11	8	累計 30人	累計 30人	100	◎	8	年度末 まで変 更なし の予定	累計 38人	累計 40人	95	○	累計50人	創業セミナー(委託事業)開催 による創業促進。受講から創 業につながらないケースがあ る。	人材育成塾開催事業に加え、 長野県立大学連携事業の起 業支援を行い、起業を推進す る。
4 土産品開発等による商品化件数	件	8件	6	4	3	累計 13件	累計 30件	43	×	2	年度末 までの 見込み	累計 15件	累計 40件			累計50件	土産品開発支援事業による支 援を行っている。飯山らしいお 土産品開発への関心が薄れ、 申請件数が伸び悩んでいる。	販売(PR)機会の情報提供と 併せ、制度の推進を図る。

施策1-(2)地域産業力の強化

(KPI)	単位	26年度 (基準値)	27年 度末	28年 度末	H29年度				平成30年度				H31年度		平成30年度 成果と課題	平成31年度 の取組み		
					29年 度末	実績値	累計の場 合3年目 の目標値	達成率	評価	平成30年 度末見込	数字の 根拠	実績 見込値	累計の場 合4年目 の目標値	達成率			評価	目標値
1 起業支援による起 業件数	件	1件	2	6	3	累計 11件	累計 15件	73	○	9	年度末 までの 見込み	累計 20件	累計 20件			累計25件	起業支援事業補助による支 援。飲食2、美容2、整体整骨 介護3、ゲストハウス2。市街地 への開業及び飲食・小売り等 関連が少ない。	商工会議所等と連携し、空店 舗の把握とともに、起業者の 市街地への誘導を行う。
2 農業産出額(飯山市 調査)	億円	75億 円	72	71	75	75 億円		94	○	集計中					80億円	天候不順等より全般的に生産 額は下がる見込み。	農業振興対策事業等各事業 を推進し、農業振興を図る。	
3 食味コンクール国際 大会入賞者	人	5人	6	1	5	5人		63	△	2	年度末 まで変 更なし の予定	2人		25	×	8人	天候不順により米の食味が落 ちた。入賞者少なくなった。こ の他、H31.1.21開催の大阪府 のコンクールで上位6人中2人 が飯山市から、そのうち1人が 最優秀賞を受賞した。	食味コンクールへの申し込み をPR、推進する。
4 空き店舗等解消・活 用件数	件	0件	0	2	3	累計 5件	累計 6件	83	○	5	年度末 までの 見込み	累計 10件	累計 8件			累計10件	起業支援事業による支援。 目標値に到達。	既存事業に併せて、引き続き 商工会議所等と連携し、空店 舗の把握とともに、起業者の 市街地への誘導を行う。 起業支援センターにてイン キュベーションに係る支援を行 う。
5 企業誘致・本社機能 移転・市外流出抑制	社	1社	2	2	3	累計 7社	累計 6社	117	◎	0	年度末 まで変 更なし の予定	累計 7社	累計 8社	88	○	累計10社	企業立地振興条例等に基づく 工業団地及び起業支援セン ターへの誘致活動並びに既存 企業の転出抑制対策の推進。 誘致については、問い合わせ があるが、積雪地帯等の理由 で成約に至らない。	首都圏に誘致推進員を配置 し、情報を収集するとともに直 接訪問等による活動を行う。 流出抑制対策についても引き 続き実施する。

施策 I - (3) 新幹線飯山駅を活用した観光交流人口の増加

(KPI)	単位	26年度 (基準値)	27年 度末	28年 度末	H29年度				平成30年度				H31年度		平成30年度 成果と課題	平成31年度の取組み		
					29年 度末	実績値	累計の場 合3年目 の目標値	達成率	評価	平成30年 度末見込	数字の 根拠	実績 見込値	累計の場 合4年目 の目標値	達成率			評価	目標値
【地方創生交付金事業一部該 当】 1 観光入込客数 (日帰り+宿泊)	万人	119万 人 (うち宿 泊91万 人)	108	105	101	101万 人		78	○	99	年度末 までの 見込み	99万人			130万人	・四季を通じた各種イベントの 開催・支援、SNS等での情報 発信 ・観光交流の拠点施設「七星 庵」オープン ・H29信州DC効果で、鍋倉高 原への入込があった。 ・H30年度は、信州DCの反動 があったと思われる。	引き続きイベントを開催・支援 するとともに、関係者と連携 し、既存観光資源のブラッシュ アップを図る。	
1-2 観光入込客数の うち宿泊者数	万人	91万人	77	77	75	75 万人		79	○	73	年度末 までの 見込み	73万人			うち宿泊95 万人			
2 外国人宿泊者数	人/泊	5,249人 /泊	6,922	7,964	9,614	9,614 人/泊		32	×	10,000	年度末 までの 見込み	10,000 人/泊			30,000人/ 泊	国内外の商談会参加、メディ アトリップ等の受入、宿泊整備 事業補助による支援。 宿泊者数は伸びている。かまく らまつりののろし鍋の予約者 のうち約3.5割は外国人だっ た。	台湾、オーストラリア等への誘 客宣伝活動を行う。信州いい やま観光局と連携し、国内外 の商談会に参加する。 飯山駅からスキー場への2次 交通を支援する。	
【地方創生交付金事業 該当】 3 菜の花公園来場者 数(菜の花期間)	万人	4.6万人	4.7	4.0	4.6	4.6 万人		77	○	4.3	年度末 まで変 更なし の予定	4.3万 人		72	○	6.0万人	交付金事業3年目として、ハッ ッピーイエローをテーマに企画 の準備、集客PRを行った。イ ベント当日の5月3・4日の天 候不順(例年にない寒波)によ り客足が大きく落ちた。5月3 日の駐車場の駐車状況は1割 程度だった。	ハッピーイエローをテーマに今 年開催の菜の花まつりのPRを 開始している。継続して取り組 む。

II 若者定住・移住定住推進

施策II-(1)若者定住のための条件、環境整備等

(KPI)	単位	26年度 (基準値)			H29年度					平成30年度					H31年度		平成30年度 成果と課題	平成31年度の取組み
		27年 度末	28年 度末	29年 度末	実績値	累計の場 合3年目 の目標値	達成率	評価	平成30年 度末見込	数字の 根拠	実績 見込値	累計の場 合4年目 の目標値	達成率	評価	目標値			
1 若者定住のための 住宅整備(支援)	件	7	5	8	15	累計 28件	累計 22件	127	◎	12	年度末 まで変 更なし の予定	累計 35件	累計 30件	117	◎	累計37件	若者住宅等の新規整備によ り、入居しやすい賃貸住宅の 供給が図れた。	定住促進住宅(10戸)および 若者住宅(7戸)の建設
2 地域おこし協力隊員 数	人	1人	1	3	3	3人		60	△	5	年度末 まで変 更なし の予定	5人		100	◎	5人	新規採用 2名。人数の目標達 成。任期後、市内の定住につ ながる取組みが必要。定住に 向け宿泊施設の管理を行う者 1名。	H31は協力隊のさらなる募集 (計10人)を行う。 協力隊の任期終了後の定住 につながる起業、雇用等につ いて支援を行う。
3 不妊治療の補助対 象件数	件	3件	9	13	15	累計 37件	累計 42件	88	○	15	H30.12 末時点	累計 52件	累計 56件			累計70件	H30年度補助対象者中4人妊 娠届有。年度内に更なる申請 あり。期間を要するため、本人 の精神的、身体的、経済的負 担がある。	継続して取り組む
4 婚活事業での成婚 組数	組	2組	1	0	2	累計 3組	累計 6組	50	△	1	年度末 までの 見込み	累計 4組	累計 8組			累計10組	婚活イベント等の開催により カップル成立につながった。	結婚相談所の設置を目指し、 マンツーマンでの支援の方式 に変更し、目標達成に近づけ る。
5 若者会議提案事業 実現件数	件			1	4	累計 5件	累計 6件	83	○	3	年度末 までの 見込み	累計 8件	累計 8件			累計10件	<提案事業のうち取り組んだ 事業> Instagram開設、子ども館開 館、教員住宅改修	引き続き、提案内容の達成に むけ取り組む。また、より多く の市民や移住者が係わり、定 住推進・地域の活性化につな がるよう、側面的に活動支援 を行う。

施策Ⅱ-(2)移住希望者の視点に立った総合的な移住定住対策

(KPI)	単位	H29年度					平成30年度					H31年度		平成30年度 成果と課題	平成31年度の取組み			
		26年度 (基準値)	27年 度末	28年 度末	29年 度末	実績値	累計の場 合3年目 の目標値	達成率	評価	平成30年 度末見込	数字の 根拠	実績 見込値	累計の場 合4年目 の目標値			達成率	評価	目標値
1 三世同居支援件数	件	8件	15	6	9	累計 30件	累計 27件	111	◎	7	年度末 までの 見込み	累計 37件	累計 36件			累計45件	定住施策として親等と同居する定住者の確保が図られた。対象が限られており、補助件数が伸びない。	補助の内容の緩和に向け準備している。併せて、制度のPRにより事業の推進を図る。
2 空き家あっせん件数 (空き家バンクへの登録件数)	件	12件	14	8	20	累計 42件	累計 30件	140	◎	20	年度末 までの 見込み	累計 62件	累計 40件			累計50件	登録だけでなく販売でも成果があった。(H30年度 登録20件、販売20件) 課題として、販売可能な中古住宅の確保が挙げられる。	引き続き、市内の空き家調査(危険空き家調査と同じ)及び登録意向調査を行う。
【地方創生交付金事業 該当】 3 市の支援を通じた 移住件数	人	38人	22	71	88	累計 181人	累計 165人	110	◎	76	H30.12 末時点	累計 257人	累計 220人			累計275 人	年度末には、100人超の状況。都内等都市部での相談会の開催。移住地としてのPRを実施した。住宅補助制度等が移住促進につながった。	市営の若者等住宅建設、中古住宅のあっせん、住宅補助等住居地の確保。 移住相談会の実施。 新年度わくわく地方生活実現政策パッケージUIターンによる起業・就業の見込み10名。
4 移住者住宅建設支援件数	件	12件	8	14	15	累計 37件	累計 39件	95	○	26	年度末 までの 見込み	累計 63件	累計 52件			累計65件	中古住宅購入補助を中心に、非常に成果があった。(H30年度 中古22件、新規4件)。課題として、販売可能な中古住宅の確保が挙げられる。	引き続き、購入支援を行う。

III 子育て支援・次世代育成

施策III-(1)子育て支援の充実

(KPI)	単位	26年度 (基準値)	27年 度末	28年 度末	H29年度				平成30年度				H31年度 目標値	平成30年度 成果と課題	平成31年度の取組み			
					29年 度末	実績値	累計の場 合3年目 の目標値	達成率	評価	平成30年 度末見込	数字の 根拠	実績 見込値				累計の場 合4年目 の目標値	達成率	評価
1 日曜・祝日保育実施 保育園	園	0園	2	2	2	2園		100	◎	2	年度末 まで変 更なし の予定	2園		100	◎	2園	しろやま保育園・とがり保育園 で実施	継続して取り組む。休日保育 利用料の検討を行う。
2 保育料の軽減率	%	44.1%	47.6	45.4	47.9	47.9%		74	○	47.3	H30.12 末時点	47.3%				65%	第3子以降無償化の実施	継続して行うが、国の無償化 施策への対応が課題となる。
3 市内小児科診療所・ 病院数	箇所	5箇所	5	5	5	5箇所		100	◎	5	年度末 まで変 更なし の予定	5箇所		100	◎	5箇所維持	飯水医師会及び飯山赤十字 病院と連携し、5か所実施して いる。	継続して行う。
4 子育て環境満足度	%	22%	—	—	—	—		—	—	36%	年度末 まで変 更なし の予定	36%		72	○	50%	・市内の未就学児のいる全世 帯にアンケート調査実施 ・6月 飯山市子ども館「きら ら」開館	アンケート調査結果等をもと に、2020年度から5か年間 の、第2期子ども・子育て支援 事業計画の策定

施策III-(2)次世代育成・教育

(KPI)	単位	26年度 (基準値)	27年 度末	28年 度末	H29年度				平成30年度				H31年度 目標値	平成30年度 成果と課題	平成31年度の取組み			
					29年 度末	実績値	累計の場 合3年目 の目標値	達成率	評価	平成30年 度末見込	数字の 根拠	実績 見込値				累計の場 合4年目 の目標値	達成率	評価
1 全国学力テスト・体 力テスト	(単位なし)	100以 下	97.8	101.8	101.0	101.0		101	◎	100.7	年度末 まで変 更なし の予定	100.7		101	◎	100以上	学力テスト実施し、活用した。 学力について、H28年度以降、 低下傾向にある。	向上に向け、加配教員、小中 連携等継続して行う。
2 コミュニティスクール 指定校	校	3校	4	9	9	9校		100	◎	9	年度末 まで変 更なし の予定	9校		100	◎	全校 (9校)	市内全校が指定されている。 秋津小コミュニティスクールが 文科大臣表彰を受けた。	継続
3 小中学校でのICT活 用	校	0校	0	1	3	4校	累計 6校	67	○	3	年度末 まで変 更なし の予定	7校	累計 8校	89	○	全校 (9校)	全校にWi-fi環境 大型テレビ整備完了	中学校タブレット、教育支援ソ フト等導入

IV いつまでも安心して暮らせる地域づくり

施策Ⅳ-(1)安心・安全な暮らしの確保

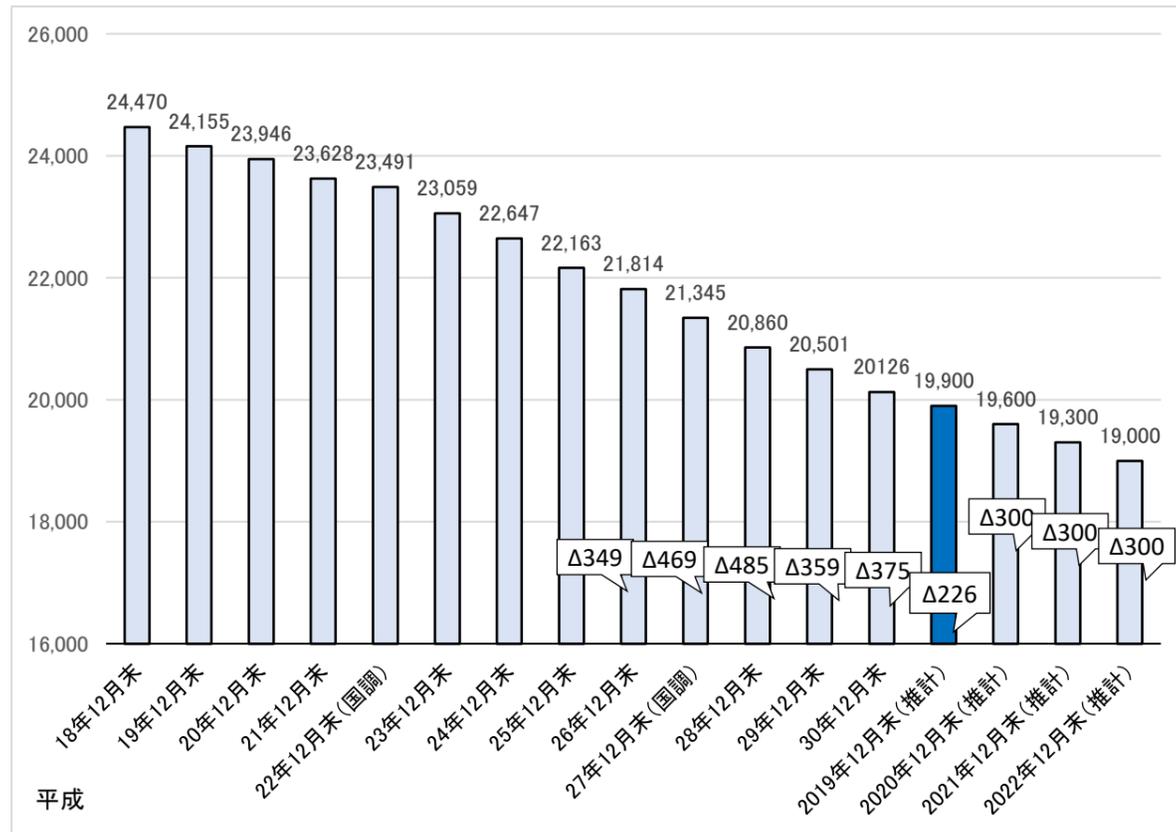
(KPI)	単位	H29年度								平成30年度					H31年度			
		26年度 (基準値)	27年 度末	28年 度末	29年 度末	実績値	累計の場 合3年目 の目標値	達成率	評価	平成30年 度末見込	数字の 根拠	実績 見込値	累計の場 合4年目 の目標値	達成率	評価	目標値	平成30年度 成果と課題	平成31年度 の取組み
1 自主防災会等組織 集落	集落	98集落	98	98	99	99 集落		93	○	98	年度末 までの 見込み	98 集落				全集落	区長会等を通じた働きかけを行ったが成果につながらなかった。集落の少子高齢化が課題である。	活動支援金について、積極的に活用のPRを行う。
2 消防団協力事業所 数	社	14社	15	16	18	18 社		95	○	19	年度末 までの 見込み	19 社			19社	事業所のみならず現役消防団員へのPRを行った。今年度目標を達成した。市外に務める若者が多い。	継続してPRに努める。H31年度減の見込みなし。	
3 集落サロン実施箇 所数	箇所	55箇所	51	53	49	49 か所		70	○	48	年度末 までの 見込み	48 か所			70箇所	実施中の区に継続を依頼区長会にて、PR。世話人の負担が大きく、引き受け手の確保が難しい。支援内容について検討が必要と考える。また、参加者の年齢等も上がっている	運営支援及び制度のPRにより、推進する。	
4 市内公共交通路線 数	路線	13路線	13	13	13	13 路線		100	◎	13	年度末 まで変 更なし の予定	13 路線		100	◎	13路線維持	10月から深沢線を中野市永田まで延伸した。	路線により、デマンド交通への運行変更を検討

施策Ⅳ-(2)地域間連携・産学官等連携の促進

(KPI)	単位	H29年度								平成30年度					H31年度			
		26年度 (基準値)	27年 度末	28年 度末	29年 度末	実績値	累計の場 合3年目 の目標値	達成率	評価	平成30年 度末見込	数字の 根拠	実績 見込値	累計の場 合4年目 の目標値	達成率	評価	目標値	平成30年度 成果と課題	平成31年度 の取組み
【地方創生交付金事業 該当】 1 広域観光連携会議 を核とした広域観光事 業推進	(単位 なし)		推進	推進	推進	推進		100	◎	推進	年度末 まで変 更なし の予定	推進		100	◎	推進	民間事業者との連携による広域観光旅行商品販売(435名・2,045人泊)	広域旅行商品販売の継続と自転車活用推進 地方創生交付金事業 3年目
2 北信地域定住自立 圏における連携	策定			計画策 定	継続	継続		100	◎	継続	年度末 まで変 更なし の予定	継続		100	◎	H29年度以 降も継続	7市町村の総会にて、H29年度の進捗管理の確認を行った。H29年度の特別地方交付税の対象額 約2,500万円	継続して行う。
3 観光交流イベント参 加回数	回数	12回	14	18	20	20回		100	◎	20	年度末 までの 見込み	20回			20回	観光交流都市等でのイベント 出展 飯山プラスラボによるイベント 開催	引き続きイベントに参加するとともに、民間事業者への参加も呼び掛ける。	

飯山市人口推移

総合戦略計画期間 平成27年（2015）～平成31年（2019）



H29、H30年の人口推移

(H31以降の数値は、推計(目標値))

社会動態

- 転入数は、518 (H29)、520 (H30) と増加傾向にある。
- 転出数は、657 (H29)、655 (H30) と減少傾向にある。
- 転入出の差は、▲139、▲135と縮まる傾向にある。

人口動態

- 出生数は、109 (H29)、112 (H30) であった。
- 死亡数は、345 (H30) と近年よりも約30人上回った。

